

家具のリサイクル展

港区リユース
キャラクター
リユース助



区内のご家庭で不用になった、良質で再利用可能な木製家具などを無料で引き取り、展示販売しています。



- 開催場所 港資源化センター2階
- 開催時間 午前9時30分～午後4時30分
- 休館日 日曜日、毎月第3木曜日、12月28日～1月3日
- アクセス 都営バス(品99)品川埠頭循環
「品川駅港南口」→「品川埠頭」下車 徒歩1分
※駐車場はありません。
公共交通機関をご利用ください。

家具のリサイクル展ホームページ



問い合わせ

家具のリサイクル展事務局 ☎ 03-3472-8186

ACCESS

みなとしげんか 港資源化センター案内図



建築概要

- 所在地 東京都港区港南5-7-1
- 敷地面積 2,443.71㎡
- 建築面積 2,176.05㎡
- 延床面積 4,237.54㎡
- 構造 地上3階 鉄骨鉄筋コンクリート造
- 完成 平成11年3月
- 事業開始 平成11年4月

港資源化センター

資源プラスチック・びん・缶・ペットボトルの中間処理施設



資源プラスチック

びん

缶

ペットボトル

港区

港資源化センター施設案内 令和6年3月発行

編集・発行 港区環境リサイクル支援部みなとしげんか清掃事務所 東京都港区港南3-9-59 電話:03-3450-8025

発行番号 2023212-5651



港区リサイクル
キャラクター
エコル

港資源化センターは、資源の中間処理を行う施設です

港区内の家庭などから回収した、資源プラスチック、びん、缶、ペットボトルが港資源化センターに運ばれてきます。そして、リサイクルできないごみや異物を取り除き、中間処理(選別・圧縮・梱包・破碎など)を行います。

資源 プラスチック

処理能力：16t/日

ごみや異物を取り除いたうえで、圧縮・梱包し、ペールと呼ばれる塊にします。



手作業でごみや異物を取り除き、おおまかに選別された資源プラスチックを中間処理設備に投入します。



破袋機(はたいき)で袋を破き、手作業でさらに細かくごみや異物を取り除きます。



目の粗いコンベヤでできた残さ選別機で、電池やライターなど小さく重たい異物を落下させ取り除きます。



ごみや異物を取り除いた資源プラスチックを圧縮梱包機に投入します。



圧縮・梱包したプラスチック(ペール)が設備から排出されます。



資源プラスチック設備では、リチウムイオン電池やライターなどの混入により発火した場合、モニターや熱、煙感知器により検知し、作業員による初期消火に取組んでいます。

中間処理後の資源



〈大きさ〉 1m×1m×1m
〈重さ〉 約280kg

民間の再生工場

もう一度！
プラスチック製品や化学原料へ



写真はイメージです

びん

処理能力：15t/日

ごみや異物、リターナブルびんを取り除いたあと、3種類に色分けして、カレットと呼ばれる砕かれた状態にします。



回収したびんを、コンテナごとリフターで、2階の選別ラインに搬送します。



2階に搬送されたコンテナをコンテナ反転装置で反転し、中のびんをコンベアに載せます。



手作業で、ごみやキャップを取り除きます。ビールびんなど、洗浄し繰り返し使えるリターナブルびんもここで選別します。



手作業で、無色、茶色、その他の色に選別し、1階の貯留庫に落とします。



2階から落下させることで、びんは砕かれ、カレットと呼ばれる状態になります。



無色、茶色、その他の色の3種のびんカレット、リターナブルびんに選別

もう一度！
びんや路面材などへ



写真はイメージです

缶

処理能力：3t/日

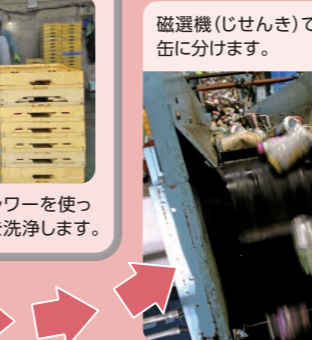
ごみや異物を取り除いたうえで、磁力でアルミ缶とスチール缶に分けて圧縮・成形します。



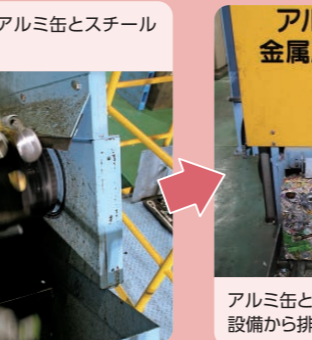
手作業でごみや異物を取り除き、缶を中間処理設備に投入します。



洗浄機により高水圧のシャワーを使って、びん・缶回収コンテナを洗浄します。



磁選機(じせんき)で、アルミ缶とスチール缶に分けます。



アルミ缶とスチール缶をそれぞれ圧縮・成形したものが、設備から排出されます。



アルミ缶とスチール缶をそれぞれ圧縮・成形したものが、設備から排出されます。



〈大きさ〉 アルミ缶 40cm×40cm×7.6cm
スチール缶 40cm×40cm×11cm
〈重さ〉 アルミ缶 約4.3kg
スチール缶 約12.5kg

もう一度！
缶や建設資材、自動車部品へ



写真はイメージです

ペットボトル

処理能力：6.4t/日

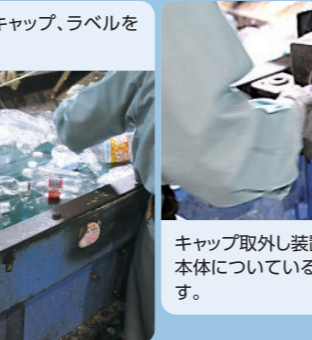
ごみや異物、キャップ、ラベルなどを取り除いたうえで、圧縮・梱包しペールの状態にします。



回収したペットボトルを、フォークリフトで中間処理設備に投入します。



手作業で、ごみや異物、キャップ、ラベルを細かく取り除きます。



キャップ取外し装置で、ペットボトル本体についているキャップを外します。



圧縮し、バンドで縛った状態で、設備からペットボトルが排出されます。



圧縮し、バンドで縛った状態で、設備からペットボトルが排出されます。



〈大きさ〉 60cm×40cm×30cm
〈重さ〉 約17kg(1.5Lボトルで約300本)

もう一度！
ペットボトルへ



写真はイメージです